

多様化する摂食障害からの回復と成長

受け入れるチカラと 変えていくユウキ — そのココロは？



鈴木 眞理さん

医学博士
政策研究大学院大学教授



田中 ひな子さん

臨床心理士
原宿カウンセリングセンター主任カウンセラー



山本 由紀さん

精神保健福祉士・臨床心理士
遠藤嗜癪問題相談室室長



鶴田 桃工

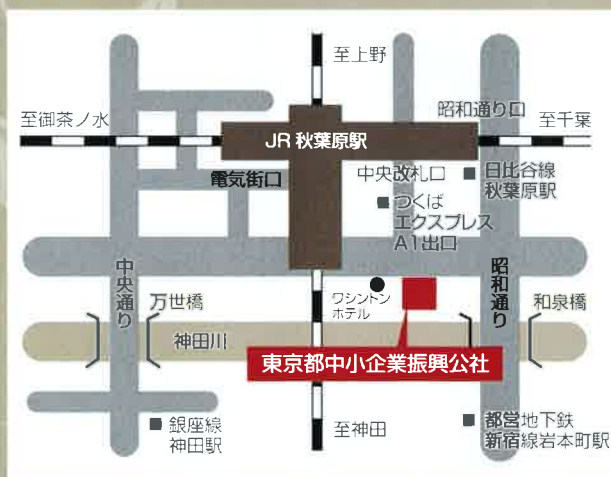
摂食障害経験者
NABA共同代表

日時 2013. **12.22** 日
10:00—16:45

PROGRAM

9:45	開場
10:00	開会
	NABAオリジナル映像上映
11:00	仲間の体験談(摂食障害本人・家族)
12:00	休憩(昼食は各自でご用意ください)
13:00	シンポジウム
	鈴木眞理さん
	田中ひな子さん
	山本由紀さん
	鶴田桃工
	Q&A/会場全体分かち合い
16:45	閉会

会場 東京都中小企業振興公社 秋葉原庁舎3階
第一会議室 JR秋葉原駅 中央改札口 徒歩1分



対象 摂食障害本人・家族・関係者ほか、関心のある方はどなたでもOK

参加費 【事前申込】1,000円 【当日参加】1,500円

申込 郵便振替用紙の通信欄に必要事項を明記の上、参加費をお振り込みください。

《郵便振替口座》00110-7-366019 《加入者》ナバ

* 振替用紙の通信欄に「12月22日参加費」と明記の上、①参加者の氏名 ②住所 ③電話番号を必ずお書き添え下さい
(複数人で一括してお申込みの場合は、全員の氏名を書いて下さい)。

* チケットは送付いたしません。振込票の半券が入場券となりますので、当日必ずお持ち下さい。



鈴木 眞理 さん 医学博士 政策研究大学院大学教授

長崎大学医学部を卒業後、佐賀医科大学病理学教室、東京女子医科大学内分泌疾患総合医療センターを経て、2002年より現職。1985年から2年間、米国ソーク研究所神経内分泌部門に留学。摂食障害治療・研究を専門として、厚生労働省の研究班でも活動。また、家族の会『EATファミリーサポートの会』も主催。【著書】『乙女心と拒食症』(インターメディカル)、『ダイエット障害』(少年写真新聞社)、『Primary care note 摂食障害』(日本医事新報社)など。



田中 ひな子 さん 臨床心理士 原宿カウンセリングセンター主任カウンセラー

立教大学大学院社会学研究科修士課程修了後、立教大学社会福祉研究所所属、北里大学看護学部非常勤講師などを経て、1995年より現職。摂食障害、虐待、DVなどの援助に携わる。日本ブリーフサイコセラピー学会理事、日本臨床心理士会私設心理相談領域委員会協力委員。【分担執筆】摂食障害女性との面接(『解決志向ブリーフセラピーの実践』金剛出版)、児童虐待とアダルトチルドレン(『児童虐待』金子書房)、摂食障害者のグループ(『摂食障害の家族心理教育』金剛書房)、児童虐待によるPTSD(『PTSD 人は傷つくとどうなるのか』日本評論社)など。



山本 由紀 さん 精神保健福祉士・臨床心理士 遠藤嗜癪問題相談室室長

上智大学大学院社会学専攻(社会福祉学)社会学修士。井之頭病院精神科ソーシャルワーカーを経て、1992年、遠藤優子(故人)とともに、遠藤嗜癪問題相談室を立ち上げる。2013年度より室長。かたわら、精神保健福祉センターでのアルコール相談、保健所等での母親相談事業、市区町村の高齢者虐待事例検討会のスーパーバイザー、上智社会福祉専門学校や首都大学での講師もつとめる。【共著書】『嗜癪問題と家族関係問題への専門的援助』(ミネルヴァ書房)、『介護福祉士のためのソーシャルワーク』(Kumi出版)など。



鶴田 桃工 摂食障害経験者

NABA共同代表、NPO法人i-NABA代表理事。精神保健福祉士。10代半ばから始まった過食を恥じ拒食へ。大学卒業、就職し、専門医から「回復した」という太鼓判をもらったが、20代後半には食べ吐き万引き暴れるわで両親が家出し人生が極まる。1989年、「重症の鬼娘」としてNABAにつながる。摂食の症状がとまり、1994年には、仲間たちと息巻いて精神科医からNABA晴れて独立。以来、万年具合の悪いボスとして、「生と性」をテーマに、仲間を愛し?! 愛され?? 居座り続ける。

NABAとは

NABA(日本アノレキシア《拒食症》・プリミア《過食症》協会)は、1987年に発足した摂食障害者本人の自助グループです。摂食障害を経験した本人たちで、東京世田谷に仲間たちの居場所となる事務所を運営しています。また、本人同士の出会い・分かち合いを大切に、ミーティング以外にも、直接来所できない人も利用できる会報や電話相談など、全国的なつながりを持って活動しています。さらに、ネットワーク作りや摂食障害以外の人とも広く分かち合いたいと願い、家族への支援、広報紙の発行や公開イベントの開催などにも力を入れています。

このイベントは

近年、摂食障害のなかでも、アルコール・薬物などの依存症、鬱や引きこもり、自傷行為、盗癖、家族関係の問題などを伴って中高年まで長く深く潜行するケースが非常に増えています。こうした状況に対応するためには、支援者(団体)同士のネットワークが不可欠だと私たちは考えてきました。

そこで、私たちは、9月~11月にかけて、都内の様々な団体と連携し、支援者向けの連続セミナー(全4回)を開催しました。症状の治療に注目されがちな摂食障害ですが、背景にある生きづらさにも目を向け、重複障害や家族支援、DV・虐待など幅広い内容を盛り込み、多くのご参加をいただきました。

今回のシンポジウムでは、連続セミナー講師の方々を再びお招きし、それぞれの視点を活かしてお話いただきます。また、自助グループならではの、摂食障害者本人・家族の体験談や映像上映もあり! 回復・成長への希望を分かち合う場となることを願って開催します。皆様、ぜひご参加ください!!



NABA 日本アノレキシア(拒食症)・プリミア(過食症)協会

〒156-0057 東京都世田谷区上北沢4-19-12 シャンボール上北沢212

☎03-3302-0710(祝祭日を含む月・水・木・金13時~16時) <http://naba1987.web.fc2.com/>

連携協力団体

AKK NPO法人女性ネットSaya-Saya NPO法人ジャパンマック リブ女性ハウス
NPO法人ダルク女性ハウス 社会福祉法人子どもの虐待防止センター 原宿カウンセリングセンター
遠藤嗜癪問題相談室 東京足立病院 京橋メンタルクリニック 公益社団法人日本精神保健福祉士協会